

令和4年2月1日発行

第178号



議会だより



(町民の方からの写真提供)

町の魅力いっぱいの写真 (jpg
データ) をお待ちしております。
メール gikai@town.noheji.lg.jp



野辺地町
ホームページ

12月定例会	2～3
一般質問 (4 議員が登壇)	4～7
11月臨時会・全員協議会	8
委員会レポート	9

第7回 12月定例会 概要

令和3年第7回12月定例会を12月8日から10日までの3日間の会期で開きました。初日に議長の選挙（指名推選）を行い、戸澤栄議員が新議長に選出されました。審議した議案は、令和3年度一般会計補正予算など11議案。その全てを原案のとおり可決しました。一般質問では、4議員が登壇して町政を質しました。

▼議長の選挙



戸澤 栄 第25代議長

熊谷晴雄前議長の逝去に伴い、選挙（指名推選）を行ったところ、戸澤栄議員が選出されました。

▼議会運営委員の選任

戸澤栄議長が委員を辞任したため、野坂充議員を委員に選任しました。

▼総務常任委員の選任

委員だった熊谷晴雄前議長の逝去に伴い、杉山福行副議長を委員に選任しました。

▼令和3年度一般会計補正予算（第6号）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2億2100万円を追加し、補正後の予算総額は72億9000万円となりました。

▽主な歳入（収入）補正予算

町民税4520万円、介護施設等感染拡大防止対策事業に係る県補助金1274万円余り、財源調整のため財政調整基金繰入金1億3361万円余りを追加しました。

▽主な歳出（支出）補正予算

人事院勧告等に伴い、職員人件費を総額約950万円減額し、原油高騰対策として70歳以上の町民税非課税世帯を対象に、助成券を発行し、灯油の購入費を支援

するため823万円余り追加しました。

また、グループホーム等が感染予防対策として、施設改修するために補助するもので1274万円余りを追加し、新町地区の土地購入費用等を役場庁舎建設基金から繰り出した分の1億4169万円余りを積み戻しました。

▼令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ105万円余り追加し、予算総額を16億3421万円余りとしました。

歳入では、国保財政安定化支援事業に係る一般会計繰入金に119万円追加し、国庫支出金などの増減補正をしました。歳出では、職員人

件費の減額のほか、財源調整のための予備費を113万円余り増額しました。

▼令和3年度水道事業特別会計補正予算（第3号）

収益的収入及び支出の補正では、既決予定額にそれぞれ200万円を追加し、予算総額を2億7300万円になりました。

収入では、一般会計からの負担金163万円余りを増額し、支出では集中管理装置等移設業務費を51万円余り、財源調整のため予備費140万円余り、それぞれ増額しました。資本的収入額及び支出の補正では、支出の既定予算額に建設改良費200万円余りを追加し、予算総額を1億7575万円余りとなりました。

区 分	補正額 ⇒ 予算総額
一般会計	2億2100万円 ⇒ 72億9000万円
国民健康保険事業特別会計	105万8千円 ⇒ 16億3421万3千円
後期高齢者医療特別会計	1万円 ⇒ 1億8859万円
介護保険事業特別会計	△3892万9千円 ⇒ 17億9413万3千円
水道事業特別会計	収益的収入及び支出 200万円 ⇒ 2億7300万円 資本的支出 200万6千円 ⇒ 1億7575万2千円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億1915万2千円は、現年度分損益勘定留保資金等で補てん。

▼町立学校設置条例の一部改正

令和5年4月1日に馬門小学校を廃止し、若葉小学校へ統合するための一部改正。

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴う一部改正。

▼国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の改正に伴い、出産育児一時金の額を変更するための一部改正

▼農山漁村活性化基金条例の制定

町の農林水産業の振興事業等への活用を目的とする野辺地町農山漁村活性化基金を設置するための条例

▼水産基盤整備事業分担金徴収条例の制定

水産基盤整備事業の実施に当たり、受益者から整備事業費に充てるための分担金を徴収するための条例。

▼野辺地町教育委員会委員の任命

野坂幸子氏の任期が満了となることから、再任について同意しました。

審議した議案の結果

議 案 名		採 決
令和3年度 補正予算	野辺地町一般会計補正予算（第6号）	可否同数により議長裁決による可決 （賛成） 江渡議員、岡山議員、高沢議員、杉山議員、大湊議員 （反対） 高田議員、中谷議員、古林議員、野坂議員、赤垣議員
	野辺地町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
	野辺地町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
	野辺地町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	
	野辺地町水道事業特別会計補正予算（第3号）	
条例改正	野辺地町立学校設置条例の一部を改正する条例	可否同数により議長裁決による可決 （賛成） 江渡議員、岡山議員、高沢議員、杉山議員、大湊議員 （反対） 高田議員、中谷議員、古林議員、野坂議員、赤垣議員
	野辺地町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
	野辺地町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
条例制定	野辺地町農山漁村活性化基金条例	全員賛成可決
	野辺地町水産基盤整備事業分担金徴収条例	
人 事	野辺地町教育委員会委員の任命の件	同意



赤垣 義憲議員

常夜燈市場の今後の活用は

町内外の方々に再度利用いただきたい（町長）



営業していた頃の常夜燈市場

問 休業から1年が経過した「常夜燈市場」（産直施設）の今後の在り方は。どう活用していくのか。

町長 町の特産品の販売やPR活動の一角が損なわれ、PRの機会が減ったことは、町にとっても損失であるとして認識しています。

町内外の産業団体や企業において、趣旨に沿った活用・運営をしていただき、町内外の方々に再度利用していただきたいと思います。

問 小学校統廃合及び新校舎建設の計画について、現時点での状況と今後の進め方は。

町長 小学校統廃合については、複式学級の早期解消を図るため、令和5年4月に馬門小学校を若葉小学校に先行統合することとしており、円滑に行われるよう、野辺地町小学校統合準備委員会を設置しています。

小学校新校舎建設計画については、当初令和7年4月に若葉小学校と野辺地小学校を統合する計画としていましたが、公立学校施設整備費負担金事業補助金の当初の歳入を見込めなかったことから、供用開始時期を設定していない状況です。小学校の新校舎建設に向けては、来年度に野辺地小学校の耐力度調査の予備調査を予定しており、

結果によって調査及び検討を行いながら、新校舎建設について判断していきたいと考えています。



問 新庁舎建設については、昨今、建設資材の高騰が見受けられるが、予算内に収めるため、品質低下やグレードダウン、入札参加者の辞退につながるなど危惧している。設計の見直しなど検討しているのか。

町長 現在、建設資材のほか、燃料の価格や人件費なども上がっており、仮に入札ができなくなつた場合には、辞退した原因を調査し、対処方法を検討して再入札することになると思います。

問 これからの大きな事業も視野に入れた今後10年の長期財政見通しは。

町長 投資的経費については、想定される事業の情報に乏しいため、継続的に実施される見込みの道路改良費などをベースにした最低見込額、歳入全般の推計では、過去の平均伸び率を使用せざるを得ません。このようにして作成した長期財政見通しの後半の期間については、信頼度の乏しい数値になります。

今後、現在の財政見通しに反映されていない大規模事業の実施などを計画していく場合には、作成可能な期間分は、速やかにその内容を反映した財政見通しを作成してお示しいたと思っています。

問 野辺地病院で診察を受ける際、待ち時間が長く、不便を感じていると町民から相談を受けたが、町長は認識しているのか。野辺地病院へ要望した経緯はあるのか。どのように改善を促すのか。

町長 会計の際の待ち時間の長さですが、私もその状況について聞いたことがあります。

野辺地病院は全通という新たな経営体制で、昨年度から抜本的に経営体制を改革してまいりました。会計の部署については、待ち時間を短縮するべく、人員配置の拡大等の改善に努めていると聞いております。

地域の重要な医療機関として、町民の皆様を引き続き安心を与え、一層信頼される病院になつてほしいと思っています。

脳体操による高齢者運転技能向上は

関係機関と連携を図りながら検討する（町長）



江渡 正樹議員

問 脳体操による高齢者運転技能向上について、宮城県の数多くの自治体が運転技能向上アプリを導入し、効果が上がっています。当町でも取り組まれてはどうか。

町長 今後、高齢者の方が、身近な集会所で認知症予防を含めた介護予防に取り組みやすい環境を整備するほか、交通事故防止につながる運転技能向上を目的としたトレーニングアプリを活用した取組についても、関係機関と連携を図りながら、実施を検討したいと考えています。

問 当町におけるSDGsとジェンダーに関する取組状況はどうか。

町長 今年3月に策定した「第6次野辺地町まちづくり総合計画」において、基本目標、施策ごと

にSDGsとの関連を明示し、各種事業や施策を推進していく過程で、SDGsの理念を理解し、意識しながら取り組むこととしています。ジェンダーに係る取組についても、まちづくり総合計画における基本目標に明示されています。

現在の取組状況ですが、「子育て支援の充実」の施策において、社会的・文化的につくられる性別を乗り越えて、男女ともに協力し合っ

て子育てを担っていくための各種働きかけを行っています。次に、「誰もが学べる教育」における取組ですが、小学生から中学3年まで、心身の発育・発達や性に関する内容について理解し、適正に行動できるようにすることを目指す。性指導や、男女の協力に関心をもち、意

的に日常生活に取り組むこと、相手の立場を尊重しながら異性と接していくこととの大切さを理解するための特別活動で指導しています。

今後の取組ですが、「第3次野辺地町男女共同参画基本計画」を策定しているところであり、来年度からジェンダー平等を含めた事業の実施を予定しています。

SDGsやジェンダーへの取組などは、まだ始まったばかりであり、必要性や理解については希薄と感じているので、事業の実施によって理解を深め、意識的な行動を促していきたいと考えています。

野辺地中学校に在籍する生徒にヤングケアラーがいるのか。その場合の対応策は。

町長 野辺地中学校をはじめ、町内3小学校を対象に調査したところ、幸い該当する児童・生徒はいませんでした。

ヤングケアラーの対応策ですが、該当する児童・生徒については、家庭の事情であることから誰にも相談できず、一人で抱え込んでしまう傾向にあるようなので、まずは相談窓口となる担任の先生やスクールカウンセラーなどの対応が必要と考えられます。

早期発見に努め、変化が見受けられる場合には、児童・生徒に対して声掛けするなど、相談しやすい環境を整えることが重要だと思っています。



ヤングケアラー

厚生労働省では、法令上の定義はないものの、一般に、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとしてい

Point!





中谷 謙一議員

災害予防対策は

町民への周知により防災対策に資する（町長）

問 地域防災計画の中の風水害を未然に防止するための調査研究をどのように実施し、活用しているか。

町長 風水害を未然に防止、又は被害を軽減するため、国や県などと連携を図りながら、各種災害に関する基礎的調査、被害想定に関する調査、防災対策に関する調査をし、その結果を地域防災計画の修正や各種ハザードマップ等の作成により、町民へ周知することが防災対策に資するものと認識しています。

問 防災の拠点とされる新庁舎の果たす機能と役割は。

町長 非常用電力が供給される災害対策本部室を備え、複数の通信手段や防災無線の使用を可能とし、発電機やバッテリーを設置するほか、マンホールトイレや

トイレに使用する雑用水槽も整備する計画です。また、現在、健康福祉ふれあいセンターで保管、管理している災害対策用備品を新庁舎内の防災倉庫へ移動させることにより、災害直後にいち早く各避難所へ搬出することが可能となり、支援活動が迅速にできると考えています。さらに、災害発生から4日目以降の安定期には、罹災証明書発行や災害ボランティアの受付などを行うスペースも必要になることが予想されるため、町民ホールや車庫等の配置についても工夫してきました。



問 地域保全などの防災事業の現状は。

町長 県事業として木明海岸老朽化対策緊急事業、急傾斜地対策事業、野辺地港高潮対策事業が行われ、町では馬門川河川改修事業、馬門ポンプ場送水管布設替事業を進めております。今後も国、県への要望や働きかけとともに、地域の防災事業の推進に努めたいと思います。

問 町民への防災思想の普及活動は。

町長 国、県と連携し、調査研究によるデータを活用してハザードマップ等を作成、毎戸配布するなど、防災思想の普及活動を実施しており、引き続き町民への防災意識の高揚に努めていきます。

問 総合防災訓練は実施されているのか。

町長 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、防

災関係機関や町民等の参加・連携により実施していた訓練を中止しました。今後の訓練等の実施予定については、感染者数の動向を見ながら、防災関係機関や町民等が安全・安心に実施できることを第一に考え、検討していきたいと考えています。

問 避難所は野外、屋内で何か所を確保しているのか。町立体育館が避難所として使用できなくなつたが、野辺地高校体育館の間借りはいつまでと考えているか。避難所として活用できる新体育館建設を検討する考えは。

町長 指定避難所（屋内避難所）は9か所、指定緊急避難所（屋外避難所）は指定避難所を含む17か所確保しています。協定により、町立体育館の代替施設として、野辺地高校体

育館を避難所としてお借りしておりますが、野辺地高校の許可がいただける間、指定避難所として利用させていただきたいと考えています。

現在の町立体育館は延命を図りながら使用していくこととして、検討にはいたっています。新体育館を建設しなければならぬ認識はもっています。

問 ペットとの同伴避難対策は。

町長 避難者の中には、動物が苦手な方や、アレルギー体質の方もいると推測されることから、避難所敷地内にテントを設置して飼育スペースを設ける方法を考えています。また、家庭動物から特定動物までのペットを、どこまで避難所で受け入れるかも検討中です。

職員接遇マニュアル改訂後は

町民との接し方を振り返る機会に（町長）



大湊 敏行議員

問 20年ぶりに改訂した職員接遇マニュアルをどのように活用するのか。

町長 新たなマニュアルは、接遇に関する基本的事項を常に確認できるようなチェック機能をもたせるなど、継続的に接遇向上に取り組むことができますが、何よりも職員一人一人が改めて町民との接し方を振り返る機会ができたと思っています。

今後のマニュアルの活用ですが、庁内の職員研修での積極的な活用などにより、全職員に接遇の重要性を再認識してもらい、管理職においては、このマニュアルを所属の職員に対する接遇の指導に役立ててもらいたいと考えています。

問 令和3年度中期財政見通しで、令和6～9年度までの役場庁舎建設基金の積立予想が毎年1%ずつ減少していくが、具体的な推計方法は。

新庁舎建設に係る起債償還を、20年償還ではなく30年償還とすることで単年度の負担額を抑え、滞ることなく残りの大型事業を進めていくべきでは。

町長 直近5か年平成27年度から令和2年度までの原子力立地給付金相当分の実績額を比較しますと、単価の減少により大きく総額が減少している年がありました。原子力関係施設の運転状況等を加味して具体的な見込みを立てることが難しいため、基礎部分を重視した平均伸び率を用いることとし

て、毎年度1%減少すると推計しました。近年の傾向を把握して、緩い見積りとならないように推計しています。

新庁舎建設基本構想の修正を行った際には、ほかの大規模事業の実施を見送る判断をしており、この時点では小学校の統廃合について具体的な話も進んでいませんので、町民の皆様にご協力いただいている原子力立地給付金の活用を最小限にしたいという思いから、利子総額の抑制を優先し、償還期間については、短めの20年間と設定しまして、基本構想にも掲載されています。借入条件ですが、利率が低い一方、償還期間が最大20年までと決まっている金融機関等もあるので、調査し、有利な条件

を選択するよう努めたいと思います。中期財政見通しと支払利息の双方をバランスよく検討し、償還期間を決めたいと考えています。

問 統合小学校の建設時期が変更され、中期財政見通しに反映されなくなつたが、町長主導による総合教育会議の場で協議・調整を行い、町長と教育委員会の両者が教育政策の方向性を共有し、施行に当たるべきと考えるが。

町長 総合教育会議の場においては、教育施策について協議・調整を行い、その方向性を共有しているところでありますが、特に小学校の統廃合については、小学校統合準備委員会などの総合教育会議以外の場でも

検討を重ねていますので、情報共有しながら、統合小学校の建設に関する課題などを整理していくこととしています。現在、国の公立学校施設整備費負担金事業の認定に向けた協議・調整等を進めているところであり、供用開始時期について、一定の目途がついた段階で、中期財政見通しに反映させていきたいと考えています。





第6回 11月臨時会 概要

令和3年第6回11月臨時会を11月29日に開きました。専決処分1件を承認し、5件を原案のとおり可決しました。

令和3年度一般会計補正予算（第4号）承認

新型コロナウイルス感染症により、経済活動への影響が全国的に生じていることを踏まえ、当町においても、影響を受ける事業者に対する緊急支援対策を講じるもの。

既定の予算総額69億2500万円に歳入歳出それぞれ3600万円を追加し、69億6100万円となりました。

令和3年度一般会計補正予算（第5号）

全員賛成可決

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億800万円を追加し、70億6900万円となりました。

主なものは、国で進める子育て世帯への臨時特別給付金8600万円となります。

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
全員賛成可決

町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正
全員賛成可決

町職員の給与に関する条例の一部改正
全員賛成可決

町会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部改正
全員賛成可決

いずれも期末手当の支給割合を改めるもの。

単位：千円

【11月12日】
◆財政見通しについて

年度	歳入合計	歳出合計	実質収支額	経常収支比率
令和元年度	6,352,925	6,337,934	6,129	102.9%
令和2年度	8,060,409	7,869,656	143,009	99.9%
令和3年度	7,212,353	7,120,653	91,700	95.1%
令和4年度	7,131,242	7,093,077	38,165	96.0%
令和5年度	7,770,235	7,718,447	51,788	96.7%
令和6年度	6,812,269	6,801,601	10,668	98.3%
令和7年度	6,812,269	6,272,544	38,153	99.0%

試算による中期財政見通し

◆地域包括支援センター業務委託について

平成18年から行政直営で運営を開始している本業務を令和4年度から公立野辺地病院へ委託することとした。メリットとして、保健・医療・介護に関する相談を1か所で行うことが可能であり、専門職による適切な相談対応を受けられ、家族及び支援者が医療の専門職から本人への対応方法やサービス提供に関する助言を受けやすくなるとともに、医療依存度が高い高齢者の在宅生活が可能となる。今後、町民へ周知していきたい。

◆一般質問の方式について

再質問から一問一答方式を用いるのではなく、最初の質問から用いることを検討する。

【12月21日】
◆町税の前納報奨金廃止について

本来の制度目的である「一般の納税意欲を高め、納税者の納税に対する積極的な協力」については、相当年前に達成されていたと考えられる。また、資力の異なる納税者間、他税目との公平性を確保する必要があることから、報奨金を廃止するべきと考えている。

◆コンビ二収納・スマホ収納の導入について

納税者の利便性及び収納率・納期内納付の向上を図る上で、現状の納付方法に加えて、令和5年度からコンビ二収納・スマホ収納の導入を予定している。

◆令和3年度子育て世帯臨時特別給付金事業について

対象者へ12月24日に児童手当の登録口座に5万円を振り込みし、

5万円相当のクーポンを基本とした給付の予定であったが、12月15日付け内閣府発令により、12月24日に現金10万円を一括給付し、口座登録の申請が必要な対象者は、1月より随時受付し、一括給付する。

◆令和3年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業について

令和3年12月10日（基準日）において、令和3年度町民税非課税世帯、コロナの影響で町民税非課税世帯と同様の経済状況にあると認められる世帯に対し、10万円を給付する。国の補正予算成立後に課税情報を用いて対象世帯へ案内する。

◆一般質問の方式について

様々な協議が行われたが、再度検討することとなった。

総務常任委員会

11月8日

総務常任委員会（高沢委員長）は、11月8日に所管に属する事務調査を行いました。

《中央公民館》

◆令和4年成人式

コロナ対策として、ワクチン未接種の成人者へ抗原検査キットを配布し、事前に自己検査してもらうなど徹底する。感染状況によって、式典内容の変更又は中止も検討。

質問 「式典内容の変更又は中止の基準は。」

回答 「全国的な状況をみて判断。」

《地域戦略課》

◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

コロナ交付金事業者支援分の追加交付により、事業者支援給付金事業を実施。コロナ交付金通常分の執行残で宿泊事業者支援事業と安全・安心認証店支援事業を追加。

《総務課》

◆ふるさと納税

3月からふるさと納税取扱サイト「さとふる」の運用を開始。件数確保のため、新たな返礼品を増やすことが課題。

要望 「町内のサークルで制作するこぎん刺しを返礼品にしては。」

建設産業保健衛生常任委員会

10月14日、11月9日

建設産業保健衛生常任委員会（岡山委員長）は、10月14日にこかぶ農家への激励訪問を行い、11月9日に所管に属する事務調査を行いました。

《建設水道課》

◆令和3年度除雪事業

冬期間の安全で安心な町民生活を目指し、迅速かつ効率的な除雪及び排雪を実施。

◆工事等発注状況

◆今後の主な発注予定

《農林水産課》

◆水産基盤整備事業分担金徴収条例の制定

◆農山漁村活性化基金条例の制定

◆こかぶ農家激励訪問

訪問先では、土壌処理剤の助成率の引き上げ、米の種子助成の継続など要望があった。



激励訪問の様子

新庁舎建設に係る特別委員会

11月12日

新庁舎建設に係る特別委員会（江渡委員長）は、11月12日に新庁舎の建設事業費等について説明を受けました。

◆新庁舎の建設事業費等

12月議会に債務負担行為の補正予算を提出予定。設定する期間は、令和4年度から令和6年度までとなり、建設費は18億4148万円余りを予定。今後のスケジュールについては、12月議会で工事費等に係る補正予算の議決後、1月から入札の公告を開始し、3月定例会に工事の本契約案を提出予定。

《健康づくり課》

◆新型コロナウイルスワクチン3回目の接種体制

3回目の接種は、現時点の厚労省からの情報では、2回目接種を終了した者のうち、概ね8か月以上経過した者を対象に、1回の追加接種を行うこととし、原則1・2回目と同じメーカーのワクチンを接種する。町では、これまでと同様の体制で取り組む。

《地域戦略課》

◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

◆イルミネーション事業

「きらめきロード2021」（12月3日～2月14日）を実施。街路灯間にイルミネーションを設置。写真コンテストやSNSを活用した絶景ポイント募集コンテストも行う。

熊谷晴雄前議長逝去



故 熊谷 晴雄 前議長

熊谷晴雄前議長は、病氣療養中のところ、去る令和3年12月4日に逝去されました。享年79歳でした。

熊谷前議長は、昭和58年5月に初当選以来、10期38年にわたる野辺地町議会議員を務められ、町民の代表として活躍されました。

平成15年には、議会運営委員会委員長に就任したほか、各種委員を歴任し、10期目令和元年には、第24代議長に就任し、町の課題解決へ積極的に取り組み令和元年度青森県褒賞を受賞しました。

ここに、改めて哀悼の誠をささげ、ご冥福をお祈りいたします。



議員は何してる？ 議員の活動状況

21日	15日	10日	9日	8日	7日	1日	29日	24日	15日	12日	9日	8日	2日	20日	19日	14日	6日
全員協議会	スキー場開き (議案審議)	定例会3日目 (一般質問)	定例会2日目 (提案理由)	定例会1日目 (提案理由)	議会運営委員会	議会運営委員会	臨時会	議会運営委員会	郡町村議会議長会 定例会	特別委員会 全員協議会	常任委員会 建設産業保健衛生 常任委員会	総務常任委員会 建設産業保健衛生 常任委員会	知事を囲む行政懇 談会	長研修会 正副議長・事務局	広報委員会 県町村議会議長会	建設産業保健衛生 常任委員会(こか ぶ農家激励訪問)	広報委員会
						12月							11月				10月

3月定例会の予定

3月3日(木)

開会、提案理由、
委員会報告等

3月14日(月)

一般質問

3月16日(水)

～18日(金)

予算議案審議等、
閉会



- ・いずれも9時30分開会予定です。
- ・日程は変更になる場合があります。
- ・詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
- ・傍聴の際は、マスクの着用等感染症対策にご協力をお願いします。

会議録の公開

会議録は議会事務局での閲覧のみでしたが、令和3年第7回12月定例会から、町ホームページ上に公開します。今後、定例会・臨時会の会議録が調製完了次第随時更新していきます。



会議録の閲覧はコチラから



編集後記

「議会だより」の役割は、町民の皆様と議会をつなぐツール(心と心をつなぐ道具)であると思います。

町民の皆様と議会が一体となつて、よりよい「野辺地町議会」をつくっていくための「議会だより」がどうあるべきか広報委員長を中心に議論しました。

結果として、「より読みやすく」「より正確に」を念頭に文字数を減らすとともに、質問者の質問の意図を正しく伝える「議会だより」の発行に努力していくことになりました。

本年は平穏な年となられますようご祈念申し上げます。

(江渡)

広報委員会

委員長
副委員長
委員

大湊 敏行
高沢 陽子
江渡 正樹
中谷 謙一
野坂 義憲
赤垣 憲